



江東区長 山崎 孝明

江東区だからこそできる あなたが描く可能性あふれるまちづくり

江東区は、東京23区の東部に位置し、大都市東京にありながら、親水公園に代表されるような豊かな水辺と緑に囲まれた「水彩都市」です。区内を見ると、江戸の歴史・文化を残し、下町情緒あふれる「城東地区」「深川地区」と、新たな時代を切り拓く未来型の都市整備が進む「臨海部地区」が、それぞれ異なる顔を持ち、江東区の特徴とも言える伝統と未来のまちを彩っています。

まちの活力ともいえる人口は、近年増加し続けており、現在では48万人を超え、今後も増加が見込まれています。区では、こうした発展を続ける江東区の都市像を明確にするため、平成21年に「江東区基本構想」を策定し、江東区の目指す将来像「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」を掲げました。

また、私は日ごろから職員には「チーム江東」として一丸となって、区民の皆様のために「意欲」「スピード」「思いやり」の三原則を持って職務に取り組むように伝えていきます。江東区が目指すべき将来像を、区民の皆様と一体となって達成するためには、この三原則を持ち、区政が直面する課題に積極果敢に取り組む職員の力が不可欠です。

今後も、地方分権に伴い、区民に最も身近な基礎自治体として江東区が担う役割は、区民の皆様との期待とともにますます大きくなっていくでしょう。さらに、臨海部地区における豊洲新市場や総合病院の整備に加えて、2020年の開催が決定した東京オリンピック・パラリンピックでは、約半数の競技が江東区内で実施されるなど、江東区は新たな発展のスタートを切ろうとしています。

こうした江東区には、若さあふれ、多くの可能性を秘めたあなたが活躍できるフィールドが必ずあります。あなたも「チーム江東」の一員となって、私たちと一緒に江東区の未来を切り拓いていきましょう。

江東区データ (平成25年4月1日現在)

面積:39.99km²
人口:481,031人
平成25年度予算(一般会計):1,651億円
職員数:2,780人(うち女性は1,559人)
区の花:サザンカ
区の木:クロマツ

江東区が求める人材 ~こんなあなたと仕事がしたい!~

区政を取り巻く環境が急激に変化していく中、江東区では「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」の実現に向け、意欲的に取り組み、新たな行政課題を解決できる職員を必要としています。

このような状況の中、区では、以下の4つの基本姿勢を持つ方を求めています。

- 1 区民と同じ目線を持つ
- 2 常に問題意識を持ち、チャレンジする
- 3 コスト意識を持ち、社会環境の変化に対応する
- 4 高い倫理観とバランス感覚を持つ

注目トピック

まさに東京オリンピック・パラリンピックの中心地!!

去る平成25年9月8日、ブエノスアイレスで行われたIOC総会において、これまでの招致活動が実を結び、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。

特に江東区ではオリンピックで全28競技中15競技、パラリンピックで全22競技中14競技が行われ、さらに全37競技場中17競技場が配置されるなど、まさに江東区は東京オリンピック・パラリンピックの中心地ともいえる、関わりが深いまちなのです。

東京開催の決定を受け、区ではいち早く開催準備のための組織を新たに立ち上げ、2020年の開催に向けて全力を挙げるとともに、地下鉄8号線の整備など、関連する区の課題解決に向け関係機関と積極的に協議を進めています。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 有明アリーナ | 10 海の森マウンテンバイクコース |
| 2 有明BMXコース | 11 若洲オリンピックマリナー |
| 3 有明ベロドローム | 12 夢の島コース・プラザ・アリーナA |
| 4 有明体操競技場 | 13 夢の島コース・プラザ・アリーナB |
| 5 有明テニスの森 | 14 夢の島公園 |
| 6 東京ビッグサイト・ホールA | 15 夢の島競技場 |
| 7 東京ビッグサイト・ホールB | 16 オリピックアクアティクスセンター |
| 8 海の森クロスカントリーコース | 17 ウォーターポロアリーナ |
| 9 海の森水上競技場 | ※⑧⑨⑩は江東区に含めています。 |



TOKYO 2020

みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東

江東区は、さらなる開発が期待できる臨海部地区、江戸文化の息づく城東地区、下町人情のあふれる城東地区など、さまざまな可能性を秘めた区です。また、人口増加、子育て、新たなまちづくりなど多くの課題もあります。そうした区を取り巻く大きな変化に対応するため、平成21年3月、江東区は多くの区民の協力を得ながら新たな江東区基本構想を策定しました。この基本構想は区民をはじめとした江東区に関わる多くの人たちが協力して実現に努めるべきまちづくりの目標であり、「次の世代が誇れる」「区民と区がともに責任を持って」「区民が生き生きと暮らせる」という3つの理念を掲げています。

ここではおおむね20年後を展望した江東区の将来像をそれぞれの分野ごとに具体化し、定められた、目指すべき江東区の姿についてご説明します。



こうとうこどもスポーツデー

未来を担うこどもを育むまち

こどもをめぐる環境の変化、多種多様な子育て家庭のニーズに対応するため、安心してこどもを産み、育てられる環境の充実に努めていきます。また、こどもが持つ個性を活かし、知・徳・体を育むことのできる学校整備をしていきます。さらに地域・大学との連携により、教育力の向上に努めるとともに、家庭・学校・地域が一体となり、健やかなこどもの未来を育む地域社会づくりを推進していきます。

ともに支えあい、 健康に生き生きと暮らせるまち

区民の健康づくりの推進及び感染症対策や生活衛生の確保など様々なライフステージやライフスタイルに応じた保健・医療体制の充実を図っていきます。また、保健・医療・福祉のネットワークのもとで、地域で支え、助け合う心を育み地域参加型のしくみを充実させることにより、高齢者や障害者をはじめ誰もが自立し、安心して暮らせる福祉施策を推進していきます。



グランチャ東雲



横十間川親水公園

水と緑豊かな 地球環境にやさしいまち

うるおいあふれるまちを実現するため、まちの中の緑を増やしながら、豊かな水辺を守り、育み、活用した、魅力あるまちを形成していきます。また、区民一人ひとりが地域環境保全を意識した取組をすることで地球規模の温暖化への対策、資源循環型の地域社会づくり、低炭素社会転換への取組など地球環境にやさしいまちづくりを推進していきます。

区民の力で築く 元気に輝くまち

区内中小企業の支援・育成や消費者ニーズを反映した商店街の振興を推進するとともに消費者の権利保護に努めていきます。また、誰もが参加しやすい地域コミュニティの活性化と、生涯学習の機会提供及び生涯スポーツの推進、男女共同参画社会実現に取り組んでいきます。さらに新旧の文化に触れ、親しむ機会の



深川八幡祭り

提供を行うなど、地域文化の活用を図るとともに地域の特性を活かした観光振興を推進していきます。



未来につながる水彩都市

住みよさを実感できる 世界に誇れるまち

江東区の特性を活かしながら、住みよい住宅・ユニバーサルデザインの公共施設など誰もが快適に生活できるまちづくりを推進していきます。また、建築物の耐震化や水害対策などをはじめとした大規模災害に備えた防災対策及び防犯対策を推進するとともに、事故やけがを予防するため区民や行政等が協働してまちづくりを行うセーフコミュニティの取組を推進し、安全で安心なまちを実現します。

江戸の
文化
息づく

深川地区

深川地区は、区内を縦横に走る河川を利用しての木材・倉庫業や米問屋のまちとして栄えました。また、神社仏閣の祭礼、開帳などの年中行事を中心に、江戸市民の遊興地としても賑わい、江戸文化の華を咲かせました。江戸三大祭りの一つであり、別称水かけ祭りとも言われる深川八幡祭りでは有名な富岡八幡宮や、松尾芭蕉ゆかりの地など、名所・旧跡が多数存在しており、歴史好きな方はもちろん、そうでない方もまちあるきを十分に堪能することができます。地元の人々によって守り育てられてきた伝統芸能、伝統工芸、食などの庶民文化が今も大切に受け継がれており、江戸情緒を身近に感じることができる地区です。

富岡八幡宮



「深川八幡祭り」で有名な神社ですが、相撲とも縁が深く、境内には横綱力士の碑があり、新横綱誕生の際には土俵入りが奉納されます。

深川不動堂



成田山新勝寺の東京別院。参道は「人情ご利益通り」と命名され、納めの不動や緑日には多くの人で賑わいます。

深川東京モダン館



旧東京市深川食堂を改築した建物は、文化庁の登録有形文化財(建造物)に登録され、区の観光と文化の拠点にもなっています。

木場公園



園内は広く、区民の憩いの場となっています。また、毎年10月に行われる「江東区民まつり」のメイン会場でもあり、民俗芸能「木場の角乗」が披露されます。

人情
溢れる

城東地区

城東地区は、江戸近郊の農地として、野菜類を江戸市民に供給することで栄え、また、江戸近郊の行楽地としても知られていました。学問の神様である菅原道真を祀り、梅や藤の花で有名な亀戸天神社や、活気に満ちあふれ、下町情緒を満喫できる砂町銀座商店街など、下町の面影や人情を感じる場所が多数存在しています。最近では旧中川・川の駅や亀戸梅屋敷といった新スポットも登場し、新たな交流拠点として注目されています。また、親水公園が整備され、都心にありながら豊かな水と緑に囲まれた地区でもあり、「水彩都市」を実現することができます。

亀戸梅屋敷



平成25年3月に開館した新スポット。観光案内所、亀戸物産店、無料休憩処などを備え、地元住民や観光客の憩いや交流の場となっています。

旧中川・川の駅



旧中川と小名木川の合流地点に、新たな水辺にぎわい拠点として整備されました。水陸両用バスの発着点でもあり、豪快に水しぶきを上げて走る様子が間近で見られます。

砂町銀座



テレビでもよく取り上げられている有名商店街。お惣菜や日用品などさまざまなお店が並び、眺めて回るだけでも十分に東京の下町情緒を満喫できます。

豊洲河川敷公園フットサル場



高速道路の高架橋下に整備した立地条件を生かし、屋外施設でありながら雨天時でも使用できる、東京23区初の全天候型屋外フットサル場です。

おすすめ
スポット
Recommended
Spots!

臨海部
地区

深川
地区

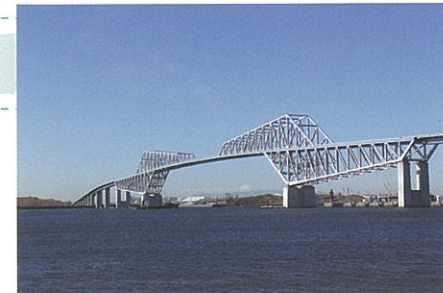
城東
地区

国際展示場



「東京ビッグサイト」の愛称で親しまれている日本最大のコンベンション施設で、日本を代表する様々な会議やイベントが数多く開催されています。

東京ゲートブリッジ



恐竜が向かい合うような形であることから恐竜橋とも呼ばれ、区の新名所として人気を集めています。夜は美しい色彩のライトアップが観賞できます。

パレットタウン



大観覧車が目印の、大型商業施設。ヴィーナースフォートやZepp Tokyoなど様々な注目施設があり、大勢の人々が訪れます。

コミュニティサイクル



臨海部に複数設置された駐輪施設で自転車の貸出や返却が自由にできるシステムで、現在実証実験が行われています。自転車で区内を巡るのもオススメです。

未来の
雰囲気
漂う

臨海部地区

大規模なコンベンション施設、科学館などの文化施設、大勢の人で賑わう大型複合商業施設など、近未来的な景観を備えた施設が次々と建設されている臨海部地区、その姿からは新しい時代の到来、都市の「未来」を垣間見ることができます。その一方で海浜公園などの緑も多く点在し、若洲公園ではバーベキューやキャンプを楽しむことができます。今後、豊洲地区では新市場の整備が予定され、官民が連携・協働して環境に最大限配慮したまちづくりの実現を目指しており、全国からも注目されている地区です。

江東区長期計画



平成22年度
平成31年度



江東区長
山崎 孝明

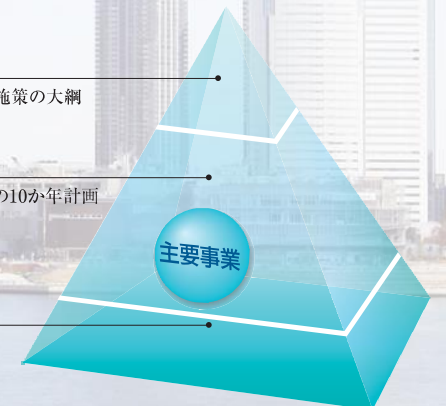
江東区は、基本構想に定める区の将来像「みんなで作る伝統、未来 水彩都市・江東」を具体化させるため、平成22年4月から新たに江東区長期計画をスタートします。区は区民の皆さんとともに、全ての人が生き生きと暮らせるまちの実現に取り組んでいきます。区民の皆さんのご協力とご理解を心からお願い申し上げます。

長期計画とは

長期計画は、江東区のまちづくりと区政運営の具体的な指針となるものであり、基本構想の実現について、具体的方向性を明確にするものです。

計画期間は、平成22年度から平成31年度までの10か年とします。このうち、平成22年度から平成26年度までを前期、平成27年度から平成31年度までを後期とします。

- 基本構想
(平成21年3月策定)
概ね20年後の区の将来像と施策の大綱
- 長期計画
(平成22年3月策定)
基本構想を具体化するための10か年計画
- 各事務事業
(予算編成・執行)
毎年度の予算の編成と執行



施策の大綱

長期計画では、以下の5つの施策の大綱に基づき、まちづくりの方向性を定めています。

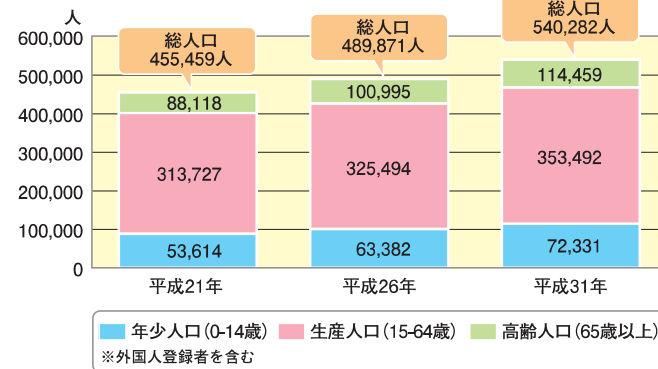
- 1 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち
- 2 未来を担う子どもを育むまち
- 3 区民の力で築く元気に輝くまち
- 4 とともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち
- 5 住みよさを実感できる世界に誇れるまち



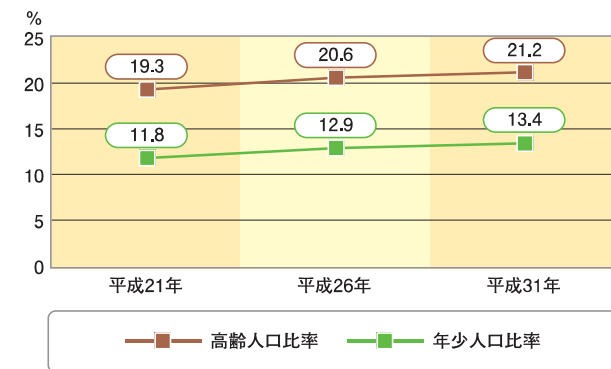
計画人口

この計画における平成26年の人口は、概ね49万人、目標年次である平成31年の人口は、概ね54万人と推計します。

江東区の人口推移



江東区の年少・高齢人口比率の推移



注1) 推計人口は、平成21年の住民基本台帳データを基に、今後の開発動向を勘案して、コーホート要因法により算出しています。
注2) 各年1月1日現在

重点プロジェクト

江東区では、次に掲げる6つの事業を、長期計画において特に重点的に取り組むべき「重点プロジェクト」として位置づけ、着実な実施を図ります。

①南部地域における総合病院の整備

豊洲五丁目に、24時間365日の対応を行う、小児医療と周産期医療に重点を置いた「女性と子どもにやさしい病院」を整備します。

②(仮称)シビックセンターの整備

豊洲文化センター・図書館の改築と合わせ、区民に身近なサービスを提供する機能を持つ複合施設、(仮称)シビックセンターを新たに整備します。

③緑化・温暖化対策の推進

校庭・公園の芝生化、屋上緑化等を推進し、「CITY IN THE GREEN」の実現を目指します。また、自然エネルギーの活用等により、地球温暖化の防止を図ります。

④子育て・教育環境の整備

人口増に対応した保育施設・小中学校の適切な整備を進めます。また、23区初の認定こども園と児童・高齢者総合施設との合築施設「グランチャ東雲」を整備します。

⑤高齢者・障害者関連施設の整備

特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム、本区初の障害者多機能型入所施設の整備を推進し、高齢者・障害者の施設サービスを拡充します。

⑥南北交通の利便性の向上

地下鉄8号線(有楽町線)の「豊洲-住吉」間の延伸の実現を目指します。延伸に要する経費に充てるため、新たに基金を設置します。

計画の推進に向けて

協働

区民や市民団体、事業者とともに、地域課題の解決と発展に取り組めます。

地方分権

地方分権改革の推進により、区の自主性と自立性を高めます。

行財政改革

行政評価システムの見直しや、事業運営手法の改革を推進します。

施設整備・改修計画

財政状況を十分勘案し、新たな施設整備や既存施設の改修等を実施します。

江東区長期計画 平成22年3月

印刷物規格表第2類 印刷番号(21)136号

編集発行:江東区政策経営部企画課

東京都江東区東陽4-11-28 電話03(3647)9111(代表)

印刷所:広研印刷株式会社



未来の江東づくりに向けて

江東区長期計画 前期における主な取り組み



水辺と緑に彩られた魅力あるまちの形成

- 区立公園において、毎年2,000㎡の芝生化を実施するほか、校庭の芝生化を推進します。
- 街路樹を10年間で倍増させます(5年間では約1.5倍)。
- 屋上緑化や壁面緑化、生垣緑化等、区民・事業者・区が一体となって緑化を推進します。
- 区民農園を新たに1施設、水辺・潮風の散歩道を新たに約1,900m整備します。

安心して子どもを産み、育てられる環境の充実

- 認可保育所12園、認証保育所40施設を新たに整備し、待機児童の解消を目指します。
- 非定型一時保育実施園を9園から14園に拡大します。

知・徳・体を育む魅力ある学び舎づくり

- 小学校4年生及び中学校1年生の全学級に学力強化講師を配置します。
- 小1プロブレム・中1ギャップの防止のため、小学校1年生、中学校1年生に支援員を派遣します。
- 不登校対策を充実させ、不登校児童・生徒の出現率の減少を目指します。
- 人口増に対応するため、新たに有明小学校、有明中学校、(仮称)豊洲西小学校を整備します。

こどもの未来を育む地域社会づくり

- 放課後子ども教室(げんきっず)と学童クラブを連携・一体的に実施する「江東きっずクラブ」を、平成31年度までにすべての小学校で実施することを目指し、計画的に整備します。

健康で安心して生活できる保健・医療体制の充実

- 小児医療や周産期医療、救急医療等に重点を置いた「女性と子どもにやさしい」総合病院を豊洲地区に整備し、平成25年度中の開院を目指します。

誰もが自立し、安心して暮らせる福祉施策の推進

- 特別養護老人ホーム1施設、介護老人保健施設1施設、認知症高齢者グループホーム10施設、小規模多機能型居宅介護施設4施設、地域包括支援センター3施設の整備を着実に進めます。
- 23区で初となる、認定子ども園と高齢者福祉機能を備えた児童・高齢者総合施設との合築施設「グランチャ東雲」を整備します。
- 本区初となる障害者多機能型入所施設の整備を推進します。
- 区民が地域ぐるみで高齢者を見守るサポート地域を拡大し、高齢者の孤立を防ぎます。

緑・環境

- 地球温暖化防止設備の導入に対する助成や、区立施設への自然エネルギーの導入等を進め、江東区全体で平成17年度と比較して10%のCO₂削減を目指します。
- 区民・事業者・区の連携による5Rの取り組みを推進し、区民1人当たり1日のごみ量を、平成20年度と比較して約15%削減することを目指します。

環境負荷の少ない地域づくり

健全で活力ある地域産業の育成

- 中小企業支援サイト「K-NET」等を通じて、企業間の情報交換や各種情報の受発信を支援します。

個性を尊重し、活かしよう地域社会づくり

- 文化学習施設や区民体育館、屋外区民運動施設、図書館、区民館等の改築・改修を計画的に実施します。

地域文化の活用と観光振興

- (仮称)江東区観光推進プランを策定し、地域資源を活用した新たな観光施策を展開します。
- 香取大門通り会でのレトロなまち並みの創設や、亀戸地区における観光拠点施設の整備を支援します。

快適な暮らしを支えるまちづくり

- 都市計画道路補助200・199号線(豊洲地区)を整備します。
- 新たに3路線の区道における無電柱化を実施します。
- 老朽化した橋梁の改修等を計画的に実施します。
- ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、区民・事業者・区が一体となって、すべての人にとって安心で安全なまちづくりを推進します。

安全で安心なまちの実現

- 平成27年度までに区立施設を100%耐震化させることを目指し、計画的に耐震補強工事を実施します。
- 民間建築物の耐震化を促進するため、耐震診断、設計、改修経費の一部を助成します。
- 民間防災組織への支援等を行い、区民自らによる防災活動の強化を図ります。

長期計画の着実な実施のために

- 区民の参画・協働を積極的に推進します。
- 行政評価制度の見直し、組織体制や事業運営手法の改革等、不断の行財政改革を推進します。
- 地方分権の推進や確固たる財政基盤の確立等により、自律した区政運営を実現させます。
- 区南部地域における人口増に対応するため、(仮称)シビックセンターを整備します。
- 緑化・温暖化対策推進のため、「江東区みどり・温暖化対策基金」を新たに設置します。
- 南北交通の利便性の向上のため、「江東区地下鉄8号線建設基金」を新たに設置します。

平成26年度予算案について

未来への輪をつなぐ 魅力向上予算

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたまちづくりなど、まちの魅力を更に引き出す予算

1 予算編成の基本的な考え方

<目指すもの>

- (1) 26年度が「江東区長期計画」(前期)の最終年度であること、また東日本大震災の教訓を踏まえた「防災都市江東」の実現に向けた取組みが一定の成果を挙げていることから、26年度当初予算を長期計画(前期)と防災都市江東の総仕上げと位置付けます。
- (2) 景気動向に左右される脆弱な歳入環境にあっても、区民生活に密接な施策に対し、きめ細かに対応する財政基盤の構築が必要なため、行財政改革計画の着実な実施に加え、事務事業の総点検により財政規律を堅持します。
- (3) 景気動向に左右される脆弱な歳入環境にあっても人口増加に的確に対応し、区民サービスの向上を図るため、柔軟な発想により、積極的に財源確保に取り組みます。

<将来人口の想定>

江東区長期計画では、将来人口を次のとおり想定しています。

将来人口(単位:千人)

	現況	推計	
		平成26年	平成31年
人口 (うち外国人住民数)	487 (21)	490 (24)	540 (29)

(注) 現況:住民基本台帳人口及び外国人住民数人口(平成26年1月1日現在)
平成26年及び31年:推計値(1月1日現在)

<行政評価を予算に反映>

946の事務事業について、目的妥当性、有効性、効率性の観点から行政評価を行い、平成26年度当初予算に反映させました。

2 予算規模

区分	平成26年度	平成25年度	比較増減	増減率
一般会計	1,743億1,900万円	1,650億6,500万円	92億5,400万円増	5.6%増
国民健康 保険会計	539億4,600万円	532億600万円	7億4,000万円増	1.4%増
介護保険 会計	293億4,700万円	266億6,900万円	26億7,800万円増	10.0%増
後期高齢者 医療会計	77億8,100万円	72億9,600万円	4億8,500万円増	6.6%増
計	2,653億9,300万円	2,522億3,600万円	131億5,700万円増	5.2%増

3 主な事業の件数と金額

事業内容		件数	金額
長期計画に定める 主要事業	施設 (ハード事業)	37件	244億9,300万円
	非施設 (ソフト事業)	21件	48億3,100万円
新たな取り組み(主要事業を含む)		56件	54億9,800万円
事業の拡充(主要事業を含む)		21件	110億3,200万円

重 点 事 業

1 防災・まちづくり

- ・ 安全で安心なまちの実現
- ・ 快適な暮らしを支えるまちづくり

2 子育て・教育

- ・ 安心してこどもを産み、育てられる環境の充実
- ・ 知・徳・体を育む魅力ある学び舎づくり
- ・ こどもの未来を育む地域社会づくり

3 健康・福祉

- ・ 健康で安心して生活できる保健・医療体制の充実
- ・ 誰もが自立し、安心して暮らせる福祉施策の推進

4 緑・環境

- ・ 水辺と緑に彩られた魅力あるまちの形成
- ・ 環境負荷の少ない地域づくり

5 産業・生活

- ・ 健全で活力ある地域産業の育成
- ・ 個性を尊重し、活かす地域社会づくり
- ・ 地域文化の活用と観光振興

- ◆ **「避難行動要支援者名簿」を作成し地域団体等と共有(1-1)**
避難行動要支援者の名簿を作成し、小・中学校や災害協力隊等に設置・提供します。
- ◆ **被災者生活再建支援システムを導入(1-2)**
り災証明書の発行等を一連で実施できる被災者生活再建支援システムを導入します。
- ◆ **「北砂三・四・五丁目地区」の不燃化を推進(1-3)**
現地相談ステーションの設置や各戸訪問など、不燃化支援のための取組を実施します。
- ◆ **豊洲駅前に区南部地域の拠点となる施設を整備中(1-6)**
豊洲駅前に区南部地域の公共・文化施設の拠点となる複合施設を整備しています。

- ◆ **認可保育所12園の整備を計画(2-1)**
乳幼児人口の増加に対応するため、認可保育所12園の整備等を実施します。
- ◆ **(仮称)第二有明中を新設、南陽小・東雲小・北砂小を増設(2-4)**
(仮称)第二有明中学校を新設、南陽小学校・東雲小学校・北砂小学校を増設します。
- ◆ **「学びスタンダード強化講師」の配置・「定着度調査」の実施(2-5)**
学びスタンダードを確実に定着させるため、学びスタンダード強化講師を配置します。
- ◆ **俳句教育推進事業の開始(2-6)**
俳句講師の派遣や、俳句大会を実施し、江東区の特色である俳句教育の推進します。

- ◆ **区内15か所目の特別養護老人ホームを整備(3-1)**
都市型軽費老人ホームや介護専用型ケアハウス等を併設した特別養護老人ホームを民設民営で整備します。
- ◆ **「こども発達センター」を児童発達支援センターとして拡充(3-2)**
現在の児童発達支援事業所に、「相談支援事業」と「保育所等訪問支援事業」の二つの機能を新たに加え、児童発達支援センターへ拡充します。

- ◆ **「江東区ハニ〜プロジェクト(ハニプロ)」始動(4-1)**
豊洲シビックセンターのテラス等で養蜂を行いハチミツを製造するプロジェクトについて、平成27年度からの実現に向けて準備を行います。
- ◆ **23区初！マイクロ水力発電設備を設置(4-2)**
横十間川親水公園水門橋に、区の新たな再生可能エネルギーのシンボルとして、「マイクロ水力発電設備」を設置します。

- ◆ **登録店からの特典で区内外を問わずおもてなし(5-1)**
クーポン等の提示により、区内外を問わず誰でも、区内のお店からの特典が受けられます。また、お店を直接取材して魅力を発掘し、積極的に情報発信します。
- ◆ **(仮称)横綱大鵬顕彰コーナーを開設(5-4)**
江東区名誉区民である昭和の大横綱・大鵬幸喜氏の、ゆかりの品々や写真を展示した顕彰コーナーを、深川江戸資料館内に開設します。